

令和3年度第3回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

- (1) 開催日時 令和3年（2021年）12月27日（月） 午後3時00分～同5時00分
- (2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター学習交流室1A、1B （リモート併用）
- (3) 出席者
 - ・景観審議会デザイン協議部会委員
岩井委員、中嶋委員、徳尾野委員、三谷委員、赤澤委員、前田委員、張間委員
 - ・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）
尾崎部長、福田室長、谷口課長、下山係長、中坂職員
 - ・設計者
 - 議事① 事業者 阪急阪神不動産株式会社
設計者 株式会社テイサ設計
 - 議事② 事業者 ヤマイチ・ユニハイムエステート株式会社
設計者 株式会社永都設計
 - 報告① 事業者 宝塚市副市長
- (4) 議 事
 - 議事① （仮称）宝塚ホテル跡地計画販売センターPJ
 - 議事② （仮称）宝塚市栄町二丁目計画 新築工事
 - 報告① 宝塚市新庁舎・ひろば整備事業
- (5) 傍聴者
0名

2. 会議の要旨

事務局： 景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっております。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいません。

事務局： 本日の審議会（部会）は、委員7名中7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長： 了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、赤澤委員と前田委員です。

☆☆☆ (仮称) 宝塚ホテル跡地計画販売センターPJ ☆☆☆

会 長： 今回の事業計画で、景観上特に配慮された部分について説明してください。

設計者： 宝塚ホテル跡地のマンションのモデルルームの計画です。建物の外観については、周辺の建物と周りの植栽が調和するように配慮いたしました。

色味については、落ち着いたある YR 系としました。建物の南側には大きなガラス面を設けて、壁面に関しては一階部分にはタイルを使用し、その他の部分には ALC のリブパネルを採用することで、建物に表情を出すような計画にしております。

植栽計画については敷地全体に対して緑化面積 10%以上を確保しており、出来る限り道路側に面するように配置しております。

南側の一部分については可能な範囲で既存の植栽を残す計画としています。その他の部分については、基本的に植栽を新設する予定です。

建蔽率 30%、容積率 90%の計画で、敷地に対してゆとりのある建物配置としております。駐車場は来場者用に 12 台分確保しております。敷地の入り口は安全性を配慮し、車と歩行者の通路が確保できる計画としております。

会 長： ありがとうございました。委員の方からご質問等あればお願いします。

委 員： モデルルームとして利用された後の土地利用計画は、どのようにされる予定ですか。

事業者： モデルルームとして利用するのは 5 年を予定しています。

その後の土地利用については、具体的には未定です。ただ、東側の駐車場は改めて整備した後、宝塚ホテル跡地の商業施設用の駐車場として運営していくことを考えています。

委 員： 東側の駐車場について、今後も長期的に植栽が無い状態となってしまうのは問題だと感じます。植栽のない駐車場が道路から見える状態というのは、景観上は最も望ましくない状態です。

事業者： 商業施設の駐車場として多数の利用客を想定しておりますので、出来るだけ台数を多く取りたいと考えています。車路の狭い駐車場ですので、敷地の有効利用の面から生垣は撤去する計画としています。

委員： 事業として、駐車台数の確保が重要だということは理解できます。しかし一方で、宝塚の景観としては、植栽のない駐車場というのは非常に受け入れ難いです。

会長： 今回の主な審議の対象は、モデルルームの建物の敷地となる西側という事ですが、東側の駐車場の方が景観上問題です。モデルルームと同じく暫定的だというのであれば、今回計画にあたってはやむ無し、との判断もできたかもしれません。しかし、今後もこの状態が続くということであれば、東側の駐車場についても、今回しっかりと議論しておかなければなりません。

本当に植栽が一切ないアスファルトだけの駐車場のままなのでしょうか。商業施設用の駐車場ということであれば、商業施設の計画の一部として、景観や環境づくりに寄与するという観点も持っていただく必要があると思います。

事業者： 宝塚ホテル跡地の敷地については、最大限の緑化に努めております。しかし、今回の東側の敷地については、駐車場の台数及び安全面の確保を優先したいというのが我々の思いです。生垣を計画すると、管理上の問題もあります。

委員： 既存の生垣は、生垣の中でも立派で、ボリュームも非常に大きいものですので、確かに管理に手間がかかると思います。もっと薄い生垣や、メッシュフェンスに絡む、つる性の植物を植えて緑化フェンスを検討されるのはいかがでしょうか。

緑化フェンスであれば、幅15～20cm程度です。フェンスの基礎の幅しか葉も茂りません。ベースとなるメッシュフェンスの色は、抑えたものにして下さい。メッシュフェンスの通常の規格である高さ1.5mや1.8mであれば、車を視線から遮ることが出来ます。コストも安価で、樹種さえ選べば、根が付くまで手をかければ、その後は、ほぼメンテナンスフリーです。

事業者： 敷地境界側に、メッシュフェンスを計画していますので、緑化フェンスの採用について検討させていただきます。メンテナンスフリーということであれば、取り入れやすいと思います。

また、今回は生垣を撤去しますが、2～3年後、最終的に商業施設用の駐車場として整備する際には、改めて検討した上で、整備をさせていただこうと思います。

委員： この場所の植栽は、市民にとっては慣れ親しんだ非常に大切なものです。駐車場の台数確保と言う理由で撤去してしまうというのは、本当にショックです。必ず既存の植栽を残すべきだとは言いませんが、代替えとなるような植栽の計画など、できることをしっかりと検討していただきたいと思います。

会長： 必ずしも景観上満点でなくてもかまいません。しかし、可能な限り良いものになるよう、ご検討をお願い致します。

事業者： 承知いたしました。

委員： 西側の植栽計画については、モデルルーム用の植栽という事でユーカリやオリーブ、シマトネリコやアカシアなど洋風にされているようですね。

良い悪いではありませんが、都心の繁華街やカフェのようなイメージが強く、宝塚のこの地域の植栽とは趣が大きく違うとは思いますが。

宝塚らしい植栽といいますと、阪神間モダニズムの雰囲気です。建物は洋風、庭は少し和風というか、周辺のものに調和した庭を造るというものです。住宅のモデルルームのイメージを出すためにも、少し地域性を意識した植栽を取り入れるのもいいのではないかと思います。

洋風と和風の間間的な植栽は、樹種がたくさんありますので、建物に合うものを選ばれたらいいと思います。その中に、この辺りで見られる黒松や桜などのシンボリックなものを一本入れると良いと思います。個性が強い木ですので、目立つところに植えなくても、目が留まり、宝塚らしい雰囲気がでて、建物の良さも際立つと私は思います。

なお、シマトネリコやアカシアを計画されていますが、5年の間でも非常に立派な高木になる樹種ですので、後の土地利用を考えられるとき、抜けなくなる可能性がありますのでご注意ください。

設計者： 検討させていただきます。

委員： 建物について、今回の計画では、貴社ブランドが各地に作られているモデルルームの色やデザインを踏襲されているようにお見受けしました。今回宝塚ホテル跡地に建てられるマンションは、宝塚ホテル旧館の歴史もかなり意識して作っていただいています。それに対して、今回のモデルルームには、あまり宝塚の色彩やデザイン的な継承が見られないことが気になります。

色彩については、5年間この地域の景観を作る建物としては、少し黒っぽい色だと感じます。宝塚では、YR系のもっと明るい色を推奨してきました。

今回の計画における、色彩やデザインに関する考え方を教えて下さい。

事業者： 宝塚ホテル旧館のデザインを継承したマンションの販売センターとして、検討した結果が、現在のデザインです。色彩については、都心ではもう少し黒っぽいスタイリッシュなものも計画してきましたが、この場所には馴染まないだろうと考え、このような色にしております。

A L C 3階建てで、法規制もあり、凝った外観を造ることが難しかったのですが、宝塚ホテル旧館の再現を意識し、足元の一番人の目に触れる部分については、色味を合わせたタイルで素材感のあるものを採用しました。上部はマンションの色と似た宝塚らしいベージュ系のお色で、A L Cの凹凸感のあるリブパネルを採用しました。

委員： 宝塚に馴染む色として検討いただいたとのことですが、色味としては暗いという印象を受けます。同じYR系でも、もう少し赤味やオレンジ味がある方が宝塚らしいと考えます。他の委員はどうお考えですか。

委員： 色味として、宝塚らしくはないと思います。先ほど他の委員がおっしゃったように、これまで他の物件で推奨してきた色より、少し重くて暗い色です。明度や彩度というよりは色相の問題で、温かみのある色味がないからだと思います。

黒っぽい部分は、10YR4/1、赤みがほとんどない色です。7.5YRにすると、赤味が入って、それだけでも随分和らいだ印象になります。明るい部分の色も、1.25Y6/2ですと、明るく楽しい色ではないです。明るい色と黒っぽい色のコントラストも、マンションより重く、はっきりしたものとなっています。

明るい色と黒っぽい色の一方だけを変えてしまうと、コントラストがおかしくなってしまうと思うので、双方を少しずつ変えて、全体として、もう少し優しく温かみのあるものにしていただきたいです。

限定的とはいえ、5年となるとまちづくりに影響し始めるので、もう少し宝塚らしさを出していただきたいと思います。

事業所： 黒っぽい色を暗めにして、全体を締めたようなものにすることが我々の意図図ではありますが、色味を調整して、明るい色をもう少し色味のあるものに変えることは可能です。その方向で検討させていただきます。

委員： 締めたいということであれば、黒っぽい色の分量をもう少し減らすと、全体も締まりますし、暗く重たい印象も軽減されます。色の境目をどこにする

のかも含めて、再度ご検討いただければと思います。

設計者： 明るい色の分量を、もう少し大きくする事は可能だと思います。また、コントラストについては、明るい色、黒っぽい色共に明度を上げる方向で、検討します。

委員： 明度を上げて、色相をもう少し赤味のあるものにしていただけたらと思います。

事業者： 承知いたしました。

会長： 東側道路際の植栽、建物の色及びモデルルーム側の植栽について、本日の協議内容を取り入れていただければ、限定的な期間ではあっても、大きくまちづくりに寄与すると思います。ご検討よろしく願いいたします。

☆☆☆★ （仮称）宝塚市栄町二丁目計画 新築工事 ★☆☆☆

会長： 今回の事業計画で、景観上特に配慮された部分について説明してください。

設計者： 15階という高層の共同住宅ですので、圧迫感をなくすために、できる限り道路境界線から控えた計画としました。隣地境界側についても、植栽帯を可能な限り設ける等周辺環境には配慮させていただいております。

建物全体の色合いも、ベージュと白色をベースに明度を6~8程度のものを採用し、圧迫感のない色彩計画にしております。

敷地内には平面駐車場もございますが、地上1段、地下2段の機械式駐車場を採用しております。出庫の際には上部へ上がりますが、出庫時以外は地上1段のみとなるように配慮しています。

また、植栽の立ち上がり等も天然石やピンころを採用し、景観に配慮して選定しています。

会長： 立面図を拝見すると、色の使い分けを多くされていますが、コンセプト等があるのでしょうか。

設計者： デザイン構成としては、西側から見て、両サイドをベージュ系、中央を白系でまとめています。ベージュ系のスラブラインだけは白くして、リズム感

が出るようにしています。

委員： 景観には、少し遠くから見た遠景からのものと、近くの足元レベルから見た人間目線の近景のもの二種類があると思います。

遠景としては、バルコニーにかなり凹凸が付いていたり、全体が一つの塊にならないよう上手く計画されています。

近景としても、外構計画がしっかり検討されていると思います。

2点教えてください。1点目、駐車場ゲートについて教えてください。二丁掛タイル+ボーダータイルと書いてあったのですが、これはどのような表現なのでしょう。ゲートのデザインはとても大切だと思います。

2点目、駐輪ゲートの意匠が、パースに出てこないため詳細が分かりません。どのようなものか教えてください。

設計者： 駐車場ゲートは二丁掛タイルとボーダータイルが交互に積み重なったものと考えています。駐輪ゲートも基本的には同じタイルを採用し、高さ2.6m程度のRCの壁を施工し、約2mの自動ドアを設置するシンプルな形を考えています。

委員： 分かりました。外構計画の色彩について、縦格子は黒で、型枠ブロックは薄いベージュですが、どのようにお考えですか。

設計者： 縦格子の方は、黒くても透けている為圧迫感はありませんが、型枠ブロックは黒くすると、まさに黒の要素がないため浮いてしまうと考えました。

委員： 敷地東側の境界について、型枠ブロックと目隠しフェンスで計画されていますが、歩道橋、階段、スロープと隣地との間で、目隠しフェンスに切り替えるポイントは、階段のエッジの所でいいのでしょうか。道路から見た時に、どこまで視認できる状況なのかを踏まえてポイントを決める必要があると思います。できればスロープまで後退するといいいのではないかと思います。

設計者： この部分は、道路から見える直近までと思っています。奥の方は植栽やツタがあって見えないと考え、手前で止めています。

委員： 敷地の状況をよく確認して、中途半端に切り替えた部分が、まちの方から見えないようにしてください。

設計者： 承知いたしました。

委員： 建物の色彩について、吹付タイルのBは、明度が8、彩度が0.5と記載がありますが、やや白っぽ過ぎるので、変更をお願いできませんか。例えば、10YR7.5/1に変更すると景観上良くなると思います。

また、タイル貼りBについて、彩度1.6ですと、宝塚の景観としては少し淡くて白く色味がないため、もう少し色のついた、彩度が2以上のものが景観上望ましいと思います。こちらは既製品だと思いますので、変更が難しいかもしれませんが、ご検討ください。

設計者： 検討させていただきます。

委員： タイル張りの部分について、目地の色は何色ですか。

設計者： 全て淡いグレーです。

委員： これからお伝えすることは、感覚的なこともあるかと思いますが、それを前提にお聞きいただければと思います。

意匠的な話ですが、1階と2階の壁の色と、上階の両サイドに使われた色と、上階の真ん中の白っぽい色を見ると、両サイドの色がはっきりしているのに対して、足元の1階2階の壁がふわっとしている色です。

締めたのか、ふわっとした色合いで人を迎え入れたいのか、色としてはどちらも言えない中途半端な色味になっています。足元を締めた方が、地に足のついた感じがあり、安定感があります。また、意図的に逆にする場合によってはあるかと思いますが、今の色だと曖昧な感じがします。

また、目地を淡いグレーにされるとのことでしたら、更にふわっとした色になるので、もう少しどちらかにされた方がはっきりした主張になると思います。

設計者： タイルの方は18ページに材料写真がございます。マンセル値としては1色で表記させていただいておりますが、実際は色柄があり、それなりに主張のあるタイルですので、マンセル値でみていただくよりはもう少ししっかりした足元のイメージになるとは思っています。ご意見を踏まえ、もう少し安定感のある足元のイメージになるよう再度検討はさせていただこうと思います。

委員： よろしくお願ひ致します。18ページの材料写真は、反射光等もありますし、現物を見ていないので何とも言い難い部分もあります。現物を見てご判断いただければと思います。

また、先ほどお伝えした、吹付タイルのBを10YR7.5/1にすると、真ん中の薄いベージュの部分、もう少ししっかりグレー方向の色味となります。実際に壁に塗ると白く見えますが、真っ白ではなく少しグレーが入るというように思っただければと思います。

会長： 大きい壁面ですので、目地も含めて、色味について整理していただければと思います。他にご意見はございますか。

委員： 外構計画の緑地について、3点ほど申し上げます。全体的によく計画されていると感じますので、より宝塚に馴染むための意見としてお聞きください。

西側隣地に住宅の敷地があり、この角に桜の木が一本植わっていて、良い景観をつくっています。

北側の緑地には高木を植えられていて、敷地内は比較的木の枝が入っていても支障がなさそうな場所かと思っておりますので、ここにヤマザクラを植えて、道路際からも見えるようにし、景観に配慮いただくとより良いと思っております。

二つ目は、敷地南東のアプローチ横の緑地についてです。この緑地が一番幅を取れて大きな木が植えられる箇所になると思っております。周りに低層住宅もありますし、今回計画されているのが比較的高い建物ですので、大きな壁面に見えないような配慮が必要かと思っております。景観を分節化するような樹種として、細く長く三角形で上に伸びていくようなものを推奨します。

計画ではシラカシとイロハモミジですが、シラカシは成長が非常に早くてあまり印象がない普通の木、イロハモミジは日本の紅葉です。イロハモミジは、他の樹種と比較すると相当和風であり、また陰に植えるようなものですので、そこまで大きくもなりません。

近隣でも見られるカツラはどうでしょうか。オレンジ色に紅葉し、上にシュッと細長く伸びて板状に見えなくもないので、集合住宅に推奨している樹種です。葉も細かく一気にバサッと落ちるようなものではありません。

カツラの木を中心に、周りにハイノキなど、さらに足元にイロハモミジを植えていただいてもいいと思っております。そうすると、アプローチに彩りが出て、マンションも分節化されて良いのではないかと思います。

三つ目は周辺への配慮についてです。敷地東側の大きな緑地帯の部分にソヨゴとヤマボウシを5本ほど植えられているのは、エントランスホールの中

から外を見るための修景用の機能が主と思われますが、隣地との境界にもあって良いかと思えます。

ただ、右の方へ行くと低木のフィリアオキが植わっているのみで周辺との目隠しが 1.8mのフェンスだけで直接マンションの壁面やバルコニーが見える状態なのが気になりました。

少し配慮しすぎかもしれませんが、周りは低層住宅ですので三角の所に同じようにソゴやヤマボウシを植えてあげると、ベランダから見られている感じもなくなりお互いに塀越しに潤いもあり良いのではないかと思います。

その際には常緑のヤマボウシがおすすめです。普通のヤマボウシは落葉で、大きくなると高確率で隣地に葉が飛んでいってしまいます。常緑のヤマボウシにさせていただくとそういった事が無く、同じような樹形で花が咲くのも楽しめるので、ご検討いただければと思います。

事業者： 隣地に向けての植栽ですが、近隣の方から植栽をあまり植えないでほしいとの要望もありますので、そのあたりも考慮させていただき、落葉するものは控えるような形でもう一度検討させていただきます。

東側についてですが、植栽を植えると湿気がたまるのではないかと懸念されている近隣の方がいらっしゃり、控えてほしいとお聞きしています。

委員： 湿気を気にされるのであれば、フィリアオキは植えずに、すっきりと下に芝生を貼っておいた方が湿気はたまらないと思います。高木を追加しても、空気は通ります。

また、木を植えない事で、隣接する住宅同士は視線が通ってしまうということもありますので、バランスを考えて計画されるのが良いかと思えます。

会長： 植栽と近隣からの要望とプライバシーやのぞき込みについてのバランスも考えて、ご検討いただければと思います。

委員： 外構計画について、南側の住宅地に近いところに緑地を沢山設けていただいていることについて、ありがたいと思っています。

石積について、阪神間の邸宅に使われてきた石積は、どちらかと言うとごろた石の丸い石積です。隣接する宅地の石積の丸い石が、5ページの3の写真に少し写っています。このお宅だけではなく、地域として共通するものです。出来れば同じように、丸みのあるごろた石のような物を採用させていただくと、周辺と馴染みますし、地域の歴史を継いでいくという意味でも良いと思います。違うところから持ってきてまで作るのはいかがかと思われるかも

れませんが、切り石よりも優しい雰囲気になりますし、せつかく積んでいた
だくなら、連続性がある方がいいと思います。

会 長： 全部でなくても、メインの道路から見える部分やエントランス周りなど、
ここぞと言うところに入れていただくと、それだけで随分阪神間らしくなる
と思いますので、是非ご検討ください。

事業者： 検討させていただきます。

設計者： 現在は、乳白色のガラス手すりの計画としています。決定ではないので
すが、上層部三層程度に透明ガラスを採用したいと考えています。透明ガラス
について、景観上はどう考えられますか。

会 長： マンションの透明ガラスについて、よく議論になるのは、すりガラスであ
っても薄いものと光の加減で洗濯物が丸見えになってしまう場合がよくあ
ると言う事です。そのあたりについては、光は入るが中のものは見えない、
というような製品を選定していただければ良いと思います。

事業者： 基本的には、透明ガラスは上層部でも良くないと言う事でしょうか。

委 員： 個人的には、上の方の差しさわりのない部分なら透明でもいいと思います。
周辺から見えて心配になるようなところは抑えながら、うまく組み合わせ
るなら問題ないと思います。

設計者： 足元回りは周辺道路から見えるため控えようかと思うのですが、上層階は
綺麗な山々も見えて、景色が素晴らしいので、透明ガラスを検討したいと考
えております。

会 長： どの階で切り替えるか判断していただいて、道路から中が丸見えになるよ
うな部分に配慮いただければ、透明を使っただけでも問題はないと思
います。

委 員： 透明か乳白か見えないものにするのかという協議はこれまでもありました。
乳白で透けませんと説明された製品でも、天気の良い日には光の加減で洗濯
物がしっかり見えてしまっており綺麗ではありません。乳白でも見えてしま
いますが、私は透明でない方が景観上良いと思います。

上層階にお住まいになる方からは、透明の方が喜ばれるのですか。防犯面など大丈夫でしょうか。

設計者： 当社の方でもいくつか透明ガラスを採用した事例がありますが、上層階に限っては透明の方が評価が高いため、できれば採用したいと考えています。

委員： そうなのですね。個人的にはあまり好きではないですが、ニーズがあるということであれば、透明でも良いと思います。

下層階については、洗濯物が見えないことが景観上必要だと思います。

会長： 最終的には事業者、設計者でご判断をお願いします。

設計者： 分かりました、ありがとうございます。

会長： 特に外構計画の意見が色々出ました。採用できる部分とできない部分があるかと思いますが、一度ご検討いただいて、よりよい景観づくりに寄与していただくようお願い致します。ありがとうございました。

☆☆☆☆ 宝塚市新庁舎・ひろば整備事業 ☆☆☆☆

事業者： 前回の審議会でもいただいた意見について検討し、最終的な図面とパースを作成しました。来月より新庁舎の工事を着工することとなりましたので、その内容についてご報告いたします。

まず、現庁舎の妻面部分について配布資料の5ページをご覧ください。前回ご説明した案では、妻面の手すり部分は現庁舎の形を模した塗装目地を入れてデザインを踏襲する計画としていましたが、審議会からのご意見を取り入れ、計画を取りやめて、現状庁舎の手すりと同様に縦長の穴が開いたような形で再現することとし、より現庁舎のデザインに近づけるようにいたしました。MURANO designにも最終案の新庁舎と現庁舎の妻面の図面をご確認いただき、ご了承いただきました。

中庭の設計については、図面はございませんが、今後、詳細設計を実施する予定です。

意見書でアドバイスいただいたように、憩いの居場所を作ることをコンセプトとする予定です。そのためベンチなど多くの座る場所を確保できればと

考えており、植栽についても座る位置に木陰が出来るように高木を配置するなど、人々が憩いやすい場所になるように変更する予定です。

新庁舎については来月から基礎工事を開始し、令和4年12月に新庁舎完了予定となっております。その後仮設庁舎を取り壊した後に中庭広場の工事に着手し、令和5年度中の全体完成を予定しています。

会 長： それでは何かご意見がございましたらお願い致します。

委 員： 以前よりお伝えしていることですが、気になっている点をもう一度お話しします。

交差点から見える、敷地境界の手すりについてです。これは景観上に大変好ましくありません。現庁舎のケヤキ通り側と庁舎の間について、橋の方になると庁舎の敷地と道路に1mほど高低差があるはずですが、手すりはありません。境界に灌木を密植して人が入らないような状況をつくることによって手すりを排除しているからです。これが、村野氏の基本的なランドスケープの考え方だと思います。

今回も、最大でも1m程度の高低差ですから、例えば2：1程度の勾配で土盛りをして、そこに灌木を密植すれば落下防止措置ができます。そういった工夫をぜひとも検討していただいて、手すりを撤去していただきたいです。

また、ちょうど交差点の辺りから、スロープで敷地に降りる部分にも、手すりがずっと回っています。こちらも、先ほど申し上げたような2：1程度の土盛りの中にスロープもうまく収めて処理し、周辺に灌木を入れれば、落下防止措置ができます。

交差点から庁舎を望む景観は極めて重要です。このランドスケープを何とか検討していただいて、良い風景をつくっていただきたいです。

委 員： 6ページのパースを拝見すると、全ての柱に雨樋が付いています。柱に入れ込むことはできませんか。

事業者： 現在、柱に対して、全数雨樋が入っているパースになっていますが、実際雨量の計算をすれば余裕があるので、部分的に取止めることは可能かと思えます。しかし、柱の中に入れたり、内樋にしたりすることは考えていません。

会 長： レンガの壁を、単に飾りだけではなく、樋等を必要以上に目立たないようにするために活用することが出来るのではないですか。

事業者： 将来的な更新、メンテナンスも含めてこのような計画になっておりますが、ご意見を参考に、目立たないところに設置する等検討させていただきます。

委員： 近年は、高架道路でも、雨樋は橋脚の所にしっかり抱き込んでおり、このように表に付けたような景観設計はしていません。更新等も考慮すべき事項だとは思いますが、だからといって雨樋を全て表に出すべきではないと思います。市庁舎ですので、しっかりと検討していただきたいと思います。

会長： この場ですぐ結論は出ないと思いますが、今回の意見を踏まえ、実施設計の方で配慮をしていただきたいと思います。

事業者： 新庁舎本体については設計は終わっている段階ではありますが、今後変更される箇所、施工の中で対応出来る箇所に関しては、工夫してまいりたいと思います。

委員： 先ほど申し上げた手すりの問題についてはどうでしょうか。

事業者： 手すりを植栽等で代替できないかというご提案だったと思います。今後、予算も見ながら、可能かどうか検討したいと思います。

会長： パースを見ても、ここは非常に重要な部分だと思います。たかが手すりと思われるかもしれませんが、宝塚市の一番顔となる部分です。安全性ももちろん必要ですが、それに加えて、通り景観としてどのようにつくるかという意識も非常に重要です。

委員： フェンスでなく、植栽帯を設けるという可能性があるならば、その際ご留意いただきたいのは、既存と同じ樹種にしていきたいということです。そうすると、既存と今回の新庁舎がまとまって見えると思います。

6ページのパースに現庁舎が見えていて、その足元に植栽があります。植栽帯を設ける場合には、この形、この樹種で回していただきたいです。そうすることによって、イメージが繋がるのが、非常に重要です。フェンスの高さより低くても、景観がしっかり切れて、向こうに人が歩いている様子が見えるという植栽が連続すれば、全体が随分調和すると思います。

また、高木を現在3本植えていると思います。右奥のメインエントランスにはケヤキが植えられているので、おそらくケヤキかと思います。可能であれば、道路際は植栽帯の中にケヤキを3本植えてもいいかと思います。現庁

舎の際にも、低木植栽の中にケヤキが植わっているところがありますのでイメージが継承できるかと思います。

もうひとつ考えられるのは、クロマツです。現庁舎の方の高木としてクロマツが生えていますが、これが本来の村野氏の思想で、洋風のモダンな建物で和風の松を植えるというようなものです。河川敷沿いにも回り込んでいて非常に宝塚らしいです。植栽としてのボリュームはあまりありませんが、非常に印象的です。パースの真ん中手前の3本はケヤキにするとしても、左奥の現庁舎の足元の低木植栽がある箇所に1本クロマツを植えるだけで相当イメージが変わるはずで、元の設計思想に合った樹種選定をするだけでも、ずっと良くなりますので、是非ご検討いただきたいと思います。

事業者： ありがとうございます。まずフェンスについてですが、こちらは兵庫県のもので、植栽についても今の段階で出来るか出来ないかを申し上げることはできません。しかし、今回いただいたご意見に出来るだけ近づけるように努力していきたいと考えています。

特におっしゃっていただいたクロマツについては、我々も現庁舎の景観を大事にしながら進めていきたいという思いを常に持ちながら事業を進めてきましたので、その方向性で調整していきたいと思います。

会長： よろしく願いいたします。他に何かあればお願い致します。

委員： 現庁舎をリスペクトしていくと言う事は、この場所に建物を建てていく上で非常に重要だと思います。現庁舎を引き立てるというわけではありませんが、現庁舎との関係で、ディテールや設計の根本的な思想を新しい建物でも説明できるようにしておくことが、対市民にとっては必要なのではないのでしょうか。

新しい市庁舎で、現庁舎に対する配慮や、新しい景観について、建物だけで説明することは、今のパースを見ていると難しいと感じます。そんな状況の中では、例えば、植栽について非常に気を配った、といえる事の重要性が増していると思います。

委員： 8ページのフリーデザインパネルはどこへ使われるのでしょうか。

事業者： 現庁舎の妻面のALCを貼る部分に採用し、ある程度の装飾が出来る可能性を残しています。

実際にはあまり目地等も目立たせない方が良いのかなと考えており、この

部分については出来る限りフラットに仕上げたいと思っております。上部の手すり壁をしっかりとつくり込んで、下はあっさりと言えませるとというのが基本的な考えです。

委員： 素材はおもしろいと思います。それとは別に、ALCの目地筋が見えないことが一番大切です。

事業者： 極力目立たないように、現場の方で施工できればと思っています。

委員： 下部のALC板の目地筋が見えてしまうと、作りこんだ手すりが、台無しになってしまいます。現場では、是非極力目立たないようにお願い致します。

委員： 建物本体については、設計が終わっているとのことでしたが、雨樋は当初協議した内容から変更されたのでしょうか。協議していなかった内容を、後ほど変更されて設計が完了したと言われると、協議してきた意味がないように思います。

委員： 設計変更があればもう一度審査に通すのが一般的です。微細なもので事務局で判断できるものは事務局の判断もあるかと思いますが、重要な変更の場合は、当然再度諮るべきだと思います。どのような判断をされたのでしょうか。特に公共建築ですので、重要であり、注目度も高いです。今回の計画が通ったと認識されるのは、景観審議会として受け入れ難いと思います。

事務局： 前回の資料が手元にあります。見えにくいですが、前回資料のパスにも雨樋の表記はあります。今回の資料として、新しいパスになった時に、はっきりと全ての柱に雨樋が出てきている状況です。事務局としては、ディテール上非常に大きな問題だと感じきれていなかったのも事実だと思います。これを微細と取るか重要と取るかと言うところで、本日のご意見を受けて、景観上は、雨樋が全ての柱に単に外側に出るとするのはやはり重要な変更である、という捉え方をしなければならぬと感じました。その部分については、今後慎重に検討して取り扱っていきたいと思います。

委員： 穿った見方をすれば、他にもお聞きしていない部分で色々変更されている箇所があるのではないかと思います。

委員： アプローチについても、何度も、随分と時間をかけて協議したにも関わら

ず、結果的に景観上の配慮が見られませんでした。今回は両極の件もあり、非常に残念です。時間をかけて協議した意味はどこにあるのでしょうか。景観審議会と公共事業との間の連携に課題があると思います。

会 長： 今日この場で結論が出る問題ではないと思いますので、公共事業におけるデザイン協議部会の位置付け等は、一度事務局の方で整理していただきたいと思います。事務局はよろしく願いいたします。

委 員： 今回の件は、報告とのことですが、しっかりと議事録に残して下さい。

事務局： 議事録に残し、公表します。

会 長： 事業を進めていくことも大変だとは思いますが、今回の意見についても可能な範囲でご対応いただきたいと思います。

それではデザイン協議部会を終了いたします。ありがとうございました。